

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 元気に学校へ通ってほしい
- 子どもの学力を定着させてほしい
- いじめのない学校にしてほしい
- 地域の拠点としての役割も考えてほしい

【学校教育目標】

心身ともにたくましく、豊かな人間性を身に着け、自ら学ぶ子を育てる

【めざす児童像】

- ・心身ともにたくましい子ども
- ・力いっぱい考え、進んで学ぼうとする子ども
- ・豊かな心をもった子ども
- ・めあてをもって、価値ある行動をする子ども

前年度の学校評価

- 地域との連携ができている
- 授業参観の出席率に比べ、懇談会へ出席率が極端に低いのではないかと
- 学校の取り組みが保護者に十分理解されていないのではないかと

児童の実態

- あいさつができる
- 落ち着いた学習態度である
- 基礎的な学習には粘り強く取り組めるが、発展的な学習に積極的に取り組む姿勢は弱い

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎子ども主体の授業の推進
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎人権意識の向上
- ◎いじめの未然防止と早期発見
- ◎道徳教育の充実

健やかな体の育成

- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎体力向上の推進
- 危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- 地域の資源活用の推進

◎：特に重点的に取り組むこと

具体的な取組

- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を意識した授業を行う
- 家庭学習の手引きを作成し、家庭学習の意義や具体的な取り組み方法を保護者にも周知し、家庭学習の定着を図る。
- 学校全体で「読書タイム」の時間を設定するとともに、休憩時間に図書室を開放し、読書習慣の定着を図る。

- 「私たちの道徳」「心のとびら」を活用し、道徳科を見据えた授業を行う
- 人権学習について、各学年で共通した資料を用いた授業を行い交流する。
- いじめアンケート・校内いじめ不登校委員会を定期的に実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 各学級の児童の様子について、全教職員で共通理解を図る。

- 「早寝早起き朝ごはん」についての保健指導や学級指導を通して、活発に授業に取り組む姿勢を育成する
- 生活習慣点検(元気大作戦)を実施し、メディア視聴の時間について意識付けを図る。
- みんな遊び等を通して、外遊びを推奨する
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- 各種便り、学校運営協議会等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する
- 授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア、クラブ講師等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する

指標

- ・校内学力調査で基本問題の正答率80%以上
- ・児童の意欲を引き出す指導の工夫をしている(教師100%)

- ・学校が楽しいと感じる(児童90%以上)
- ・「私たちの道徳」「心のとびら」の活用100%
- ・いじめの解消率100%

- ・生活習慣点検にて、朝食の摂取率100%、メディア視聴時間が2時間以下の割合が90%以上。
- ・食への関心を、高めるための指導行う(教師100%)

- ・学校の様子がよく伝わった(保護者60%)